

資料 5

E-learning 等の医療安全研修プログラムと評価について

医療安全に関わる研修とその評価－自治医科大学医学部の取組み

河野龍太郎、自治医科大学医学部 メディカルシミュレーションセンター センター長
医療安全学 教授

現在、自治医科大学医学部において職員対象の医療安全研修をどのように行っているかについて紹介する（参照 表）。

自治医科大の医療安全に対する取組み（研修）は、医療安全対策部が、新規採用者・研修医に対して「リスクマネジメント実習」といった講義をしている他、30分程度の短い医療安全講演会を、「安全塾」という名前で、定期的に行っている。また、感染と一緒に合同で行っているものもある。

また、当院は、中心静脈カテーテルを行うことについては認定制をとっており、シミュレーションセンターで履修したのち、3年ごとの更新制となっている。これらについても、医療安全対策部が中心となって行っている。

他に、医療安全対策部が行っている研修は、メディーエーション、小児の蘇生、他、弱くなったと感じた分野（臨時的に行う）といったことがある。

指導医研修についても「医療安全」をその中へ組み込んで行い、指導医が他への手本となるように指導している。

他、一般職員を対象としたAEDの研修会も行い、その後、忘れてしまわないようにフォローアップも行っている。

e-learningについては、今まで「楽々てすと君」を使用していたが、最近「totara」というシステムに変更した。このe-learningによる研修は、医療安全講習会に出席できなかった人が対象で、(資料の)メニューが表示され、メニューを選択するとビデオが再現される。ビデオ終了後に確認テストがランダムに出題され、100点をとらないと終了できない仕組みになっている。

また、このe-learningシステムは、自宅からでもアクセスすることができるが、業務の一環として、院内で行うよう方針づけることが必要と考える。

ナビゲーション

- Home
- マイラーニング
- サイトマップ
- 現在のコース
 - 医療安全講習会 2016
 - 参加者
 - パンフ
 - 一般
 - 6月8日 医療安全講習会 (遠山先生)
 - 9月5日 安全塾
 - 06/22 - 06/28
 - 06/29 - 07/5
 - 07/6 - 07/12
 - 07/13 - 07/19
 - 07/20 - 07/26
 - 07/27 - 08/2
 - 08/3 - 08/9
 - 08/10 - 08/16
 - マイコース

管理

- コース管理
 - コース管理
 - 評価

一斉メール配信

配信済みメール一覧

フォーラムを検索する

検索オプション

あなたの進捗

コース名	進捗状況
ニュースフォーラム 6月8日 医療安全講習会 (遠山先生) セッション終了 2016年 06月 08日, 18:00 - 19:00 (タイムゾーン: アジア/東京) すべてのセッションを表示する 6月8日 講演動画 6月8日 確認テスト	<input checked="" type="checkbox"/>
9月5日 安全塾 9月5日 安全塾 出席管理 すべてのセッションを表示する 9月5日 安全塾 動画 9月5日 確認テスト	<input type="checkbox"/>
06/22 - 06/28	
06/29 - 07/5	
07/6 - 07/12	
07/13 - 07/19	
07/20 - 07/26	

Home ▶ その他 ▶ 医療安全講習会 2016 ▶ 6月8日 医療安全講演会 (遠山先生) ▶ 6月8日 講演動画

- ナビゲーション
- Home
 - マイラーニング
 - ▶ サイトページ
 - ▼ 現在のコース
 - ▶ 医療安全講習会 2016
 - ▶ 参加者
 - ▶ バッジ
 - ▶ 一般
 - ▶ 6月8日 医療安全講演会 (遠山先生)
 - ▶ 6月8日 医療安全講演会 出席管理
 - ▶ 6月8日 講演動画
 - ▶ 6月8日 確認テスト
 - ▶ 9月5日 安全塾
 - ▶ 06/22 - 06/28
 - ▶ 06/29 - 07/5
 - ▶ 07/6 - 07/12
 - ▶ 07/13 - 07/19
 - ▶ 07/20 - 07/26
 - ▶ 07/27 - 08/2
 - ▶ 08/3 - 08/9
 - ▶ 08/10 - 08/16
 - ▶ マイコース

- 管理
- ▶ コース管理

6月8日 講演動画

講演動画

2016年6月8日 医療安全対策講演会

医療機関内での有害事象報告制度
インシデント(.アクシデント、オカランス、バリアンス)報告

自院内で発生したインシデント報告の活用
(=原因究明と再発予防策の立案・実行)

医療安全対策の基本
最も実効性の高い方策

発生したインシデントが速やかにかつ
全例報告される仕組みが理想的

1:08:44

最終更新日時: 2016年 09月 21日(水曜日) 09:03

小テストナビゲーション

1 2 3 4 5

テスト終了...

問題 1
未解答
最大評点 1.00
問題にフラグ
する

James Reasonが唱えた「安全文化」の4つの要素に当てはまらないのはどれですか。

1つ選択してください。

- a. 正義(公正)の文化
- b. 柔軟な文化
- c. 相談する文化
- d. 報告する文化
- e. 学習する文化

問題 2
未解答
最大評点 1.00
問題にフラグ
する

インシデント報告は、当事者(報告者)にとってどのような意義がありますか。2つ選んでください。

1つまたはそれ以上選択してください。

- a. 状況を冷静に振り返る(デブリーフィング)
- b. 改善策や再発予防策を自分で考えてみる
- c. 上司に対して反省の気持ちを表明する
- d. 「仕方がなかった」ことを記録に残す
- e. 文書化することで、伝えるべき内容を整理する

問題 3
未解答
最大評点 1.00
問題にフラグ
する

自治医科大学附属病院の「主治医(担当医)が報告すべき重大な患者影響等の基準」で、直ちに医療安全対策部に電話連絡する必要があるのはどれですか。2つ選んでください。

1つまたはそれ以上選択してください。

- a. 外来検査・処置後の予定外(事前説明・同意されていない)の入院
- b. 院内急変コール(6000番コール)等で蘇生処置を行い、死亡した例
- c. 予定外の再手術(1か月以内)、追加手術
- d. 予定外(事前説明・同意されていない)のICU、CCU、PICU入室
- e. 術後在院死亡

問題 4
未解答
最大評点 1.00
問題にフラグ
する

医療安全巡視活動をより効果的なものとするために、演者が特に重視していた項目はどれですか。

1つ選択してください。

- a. 患者確認状況

職員向け医療安全研修

新採用者

新人看護職員研修
研修医リスクマネジメント実習

医療安全対策部主催 医療安全教育・研修

講演会
安全塾
合同講演会
中心静脈カテーテル挿入技術認定研修
AED研修会
AEDフォローアップ研修会
メデイエーション研修
小児の蘇生・AED研修会

臨時研修

モニターアラーム研修

指導医研修

医療安全

医療安全に関わる研修とその評価－横浜市立大附属病院の取組み

菊地 龍明、公立大学法人横浜市立大学附属病院、病院長補佐 安全管理指導者、
医療安全・医療管理学 准教授

現在、横浜市立大附属病院において全職員対象の医療安全研修をどのように行っているかについて紹介する（参照 表）。

当院では従来から集合型の研修を年6回を開催しているが、それに加えて平成26年度からはチームトレーニング研修としてチーム STEPPS を開始し、平成26年度は年12回、その後は年6回ずつ行っている。

当院としての特徴は、医療法で年2回の出席が義務付けられている研修を6回開催し、職員がそのうち2回以上を選んで出席してもらっている。研修の講師については、院内の講師が比較的多い。また、院内の職種横断的なチームと共催し、チームの活動を支援するような形で開くことも多い。

全6回のうち第1回の研修に関しては、毎年、医療事故の風化防止という目的で、患者取り違え事故など当院で起きた事故とその後の取り組みについて振り返る内容とし、新採用者に関しては「参加必須」としている。

評価に関しては、まず正しく中身を聞いていたかどうかの確認の意味で、内容に関する設問を出席表に3問ぐらい組み合わせて答えてもらう（マークシート形式）形をとっている。

チーム STEPPS に関しては、参加型の研修なので大勢では一度にできないため、1回につき、最大80名の参加者による研修を行っている。これに関しては、毎回アンケートを取っている。アンケートは、まず「チーム医療が今自分たちでできていると思うか」というところから始まり、「研修の内容が今後のチーム医療の活動に役に立つと思うか」といったことまでを問う内容となっている。

他、チーム STEPPS の中で、行動のためのツールを幾つか紹介しているが、その中で「自分たちが使えるようなものはどれか？」というようなアンケートもとっている。

また、チーム STEPPS についてだけの評価というわけではないが、チーム STEPPS を始めたことによって、院内でどういふ変化が起きたかを追跡するために、「医療における安全文化に関する調査」を、研修を始める前の平成26年度に第1回目を行い、その後1年おきに全職員（2,000名弱）に対して行って、経年的な変化を見ていくというような形の評価を行っている。平成27年度も、同じような形で行っている。

他、倫理に関する研修を、これまでは倫理からの要請で、「医療安全研修」という形で行っていたが、今年からは倫理については、医療安全の研修の一部としてではなくて、独立して行わなくてはならなくなり、独立して行っている。

e-learning のシステムもあり、感染の研修について、2回参加するうちの1回を e-learning で行っている。e-learning については、知識の確認というような側面になるので、新採用者研修の集合型研修に出られなかった者に関しては、e-learning という形で研修を行っているが、全職員に対しての医療安全研修としては、現在、e-learning は使っておらず、「集合型研修に参加して、そこで話を聞く」ということにしている。

平成26年度全職員対象医療安全研修

		当日参加		ビデオ研修		計	
4月3日	第1回医療安全講演会	内部講師	「附属病院の医療安全の歩み」安全管理指導者 菊地龍明医師	285名	670名	955名	当院で起きた医療事故の風化を防止するため毎年行っている。新採用者は参加必須。
5月28日	第2回医療安全講演会	内部講師	「院内インシデント事例から」医療安全管理者 後藤洋仁 「WHO手術安全チェックリストがもたらした新たな患者安全」安全管理指導者 菊地龍明医師 「当院でのタイムアウトの変更について」手術部 佐藤仁医師	220名	482名	702名	手術室のタイムアウト時にブリーフィングを行うマニュアル改正を行ったので、関連する内容の講義を組み合わせた。
7月2日	第3回医療安全講演会	内部講師	「CVポート管理について」がん総合医科学 市川靖史医師・化学療法センター 加藤亮子看護師	154名	229名	383名	重大なインシデントは起きていないが、CVポートの管理についてトラブルが増えているため。
10月27日	第4回医療安全講演会 (生命倫理セミナー共催)	内部講師	「生命倫理セミナーと医療安全」について:平原史樹病院長 「横浜市立大学における研究倫理規定の運用と課題」:大橋健一医師 「臨床研究における本学の研究倫理規定の履行状況と課題」:寺内康夫医師	276名	63名	339名	毎年生命倫理セミナーと共催となっていた。(平成28年度からは倫理セミナーは独立開催)
11月11日	第5回医療安全講演会 (感染対策講演会共催)	内部講師	「糖尿病に関するインシデントの話題」:内分泌・糖尿病内科 富野優医師 「糖尿病療養指導士 岡本幸子看護師」 「冬の感染対策」:感染制御部 満田年宏医師	253名	431名	684名	インスリンに関してのインシデントが散見されたため。
1月29日	第6回医療安全講演会	内部講師	「静脈経腸栄養ガイドラインより」: :栄養管理サポートチーム 雁部弘美栄養士・横山千紘 「院内鎮静マニュアルについて」: :鎮静管理プロジェクト 宮下徹也医師	178名	474名	653名	平成25年の栄養チューブ事故後に強化した栄養チューブ管理に関連した話題+新たに開始した鎮静マニュアルの解説
5月19日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	80名		80名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
6月10日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	78名		78名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
6月25日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	80名		80名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
7月10日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	79名		79名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
9月19日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	78名		78名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
10月21日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	75名		75名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
11月6日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	79名		79名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
11月26日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	78名		78名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
12月15日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	79名		79名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
1月16日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	77名		77名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
2月6日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	78名		78名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
2月24日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	76名		76名	平成26年度から全職員対象に開始。参加型研修のため1回80名が定員(90分)。

研修終了時アンケート提出。
隔年で医療における安全文化に関する調査を全職員に実施。

平成26年度全職員対象医療安全研修

				当日参加	ビデオ研修	計	
4月13日	第1回医療安全講演会	内部講師	「附属病院の医療安全の歩み」安全管理指導者 菊地龍明医師	374名	442名	816名	当院で起きた医療事故の風化を防止するため毎年行っている。新採用者は参加必須。
5月13日	第2回医療安全講演会	外部講師	「安全対策に潜む落とし穴 ～効果的なダブルチェックとは～」 :電気通信大学院 情報システム学研究科 教授 田中健次氏	310名	856名	1166名	前年度からダブルチェックの具体的方法をマニュアルで定めたため、その理解を促進する目的。
7月7日	第3回医療安全講演会	内部講師	「電子カルテ更新に伴う固執事項」 患者基本ワークキング:菊地龍明医師 診療記録ワークキング:根本明宜医師 入院指示ワークキング:秋山浩利医師 外来指示ワークキング:湯川寛夫医師	346名	4名	350名	電子カルテ更新に伴う運用の変更点を周知し、更新に伴うインシデントの抑制を図った。
10月26日	第4回医療安全講演会 (生命倫理セミナー共催)	内部講師	「診療・臨床研究実施上の倫理の留意点」 ・診療上、臨床倫理で扱うべきこと:平原史樹病院長 ・横浜市立大学における研究倫理規定の運用と課題:大橋健一医師 ・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の留意点:寺内康夫医師 ・よい臨床研究、ダメな臨床研究:山中竹春教授	259名	135名	394名	毎年生命倫理セミナーと共催となっていた。(平成28年度からは倫理セミナーは独立開催)
1月27日	第5回医療安全講演会	内部講師	「リスクマネージャーによるグループワークの取り組み報告」 患者確認動画(外来・病棟・手術)・転倒転落後の初期対応について 「医療における安全文化に関する調査結果について」 :安全管理指導者 菊地龍明医師	218名	548名	766名	患者確認強化月間に併せて、リスクマネージャーが制作した確認ビデオを公開。十隔年で実施している安全文化調査の結果を共有。
2月16日	第6回医療安全講演会	外部講師	「がん告知マニキュアル」について:がん化学療法センター長 佐藤美紀子 医師 「延命措置をしないことを考える」 :生命倫理政策研究会 共同代表 橋島次郎氏	145名	207名	352名	がん告知マニキュアルの周知+過剰な治療を再考し過剰治療に伴う有害事象の発生抑制を目的。
5月18日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	79人		79人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
6月23日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	78人		78人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
7月8日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	72人		72人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
9月24日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	71人		71人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
10月23日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	75人		75人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。
11月25日	TeamSTEPPS研修	内部講師	TeamSTEPPS:安全管理指導者 菊地龍明医師	73人		73人	平成26年度から全職員対象に開始。 参加型研修のため1回80名が定員(90分)。

講演会終了時、講演内容の理解度テスト(3問程度)提出

研修終了時アンケート提出。
隔年で医療における安全文化に関する調査を全職員に実施。